

新潟市議会議員(中央区選出)

伊藤けんたろう

市政活動 レポート

この市政活動レポートは、新潟市政の活動を市民の皆さまに広く知って頂くことを目的としております。新潟市政に対するご意見がございましたら、お気軽にお寄せ下さい。info@itokentaro.com
※この市政活動レポートは、政務活動費によって発行されています。



議会報告

議会の役割とは

市を住みよい「まち」にするためには、市民が意見を出し合って、自分たちで市政を行っていくことが望ましいことです。しかし、すべての市民で市政を運営することは困難なため、市民の代表である市長と市議会議員を選び、市政の運営を委ねています。

市議会は市議会議員によって構成され、市民の意見が十分に活かされたよりよい市政運営となるよう、市の仕事の進め方などを決定したり、市政が正しく行われているかチェックしたりする大切な役割を担っています。

議会の構成

定期的に行われる議会を定例会といいます。条例により年4回と決められており、例年2月、6月、9月、12月に開かれます。この他、必要に応じて開かれる臨時会があります。



一期4年間すべての定例会において、一般質問に立たせて頂きました。その質問内容と回答について報告致します。

病児デイサービスの全区設置について

(平成29年6月定例会本会議一般質問、平成29年12月定例会本会議一般質問)

質問 市内には、病児デイサービスがない区がある。区に1カ所は設置すべきと考えるかどうか。

答弁 未設置の区への早急な整備に向けて検討を行っていく。

平成31年度予算案に未設置区への病児デイサービスの新設が盛り込まれました。



ひまわりクラブの時間延長について

(平成30年12月定例会本会議一般質問)

質問 保育園では早い所でも午後7時まで子どもを預かってもらえるが、ひまわりクラブは6時まで。30分延長すべきと考えるかどうか。

答弁 現在実施中の子育て世帯を対象としたニーズ調査などを踏まえ、判断したい。

私のもとには、ひまわりクラブの時間を延長してほしいというご意見が多数寄せられています。本当の理想は、子どもたちが家庭でぬくもりのある時間を長く過ごせるよう、勤務時間が短くなることだと考えていますが、現状、すぐにそれが実現するのは難しいことだと感じています。今後も子どもたちの放課後や長期休暇中の過ごし方についてご意見をいただき、提言してまいります。

防犯カメラの設置促進について

(平成30年6月定例会本会議一般質問)

提言 子どもたちの安全確保のためには、地域住民の皆さんによる見守り活動だけではどうしても生まれてしまう死角をカバーし、犯罪の抑止力となる防犯カメラの設置を積極的に進めるべきだと考えるがいかがが。

平成31年度予算案に防犯カメラ設置強化策が盛り込まれました。

登下校時の子どもの安全を守るためには、現在各地域で行われているような見守り活動が最も効果的であることは言うまでもありません。ただし、見守り活動には限界があり、それをカバーするための防犯カメラ設置は有効な手段だと考えます。もちろん、子どもたちが安心して登下校できる、犯罪のないまちになることを心から願います。



山潟中学校区へのコミュニティ施設新設について

(平成31年2月定例会一般質問)

質問 山潟中学校区には市のコミュニティ施設が無い。山潟中学校区はコミュニティ活動が活発であり、施設の必要性が高いと考えるかどうか。



答弁

山潟中学校区のコミュニティ活動は活発であり、コミュニティ施設新設の必要性は高いと考えている。コミュニティ施設の地域別サービス量の分布や候補地の長短などについて調査・検討。

市内56中学校区の中で、山潟中学校区にのみ、市のコミュニティ施設がありません。山潟中学校区においては、中学生による高齢者家庭のゴミ捨て支援や、地域住民による助け合いの仕組みづくり、鳥屋野潟を守り、育む活動など、市内でも随一のコミュニティ活動が展開されています。コミュニティ活動のためには、担い手や予算とともに、活動拠点の設置が重要であり、コミュニティ施設の新設が期待されます。今後もコミュニティ活動に積極的に参加しながら、新設について働きかけてまいります。

バスの「シニア半わり」実施について

(平成27年12月定例会本会議一般質問)

質問 現在社会実験として行っているシニア半わり、今こそ本格実施すべきと考えるがどうか。

答弁 来年度からの本格制度移行を目指す。

平成28年9月から高齢者おでかけ促進事業「シニア半わり」開始

BRT導入により、市民の多くが利用するバス交通が大きく変わりました。バスを利用する市民の皆さんにとっては、「バスの便がいいからここに住んだ。」「普段使い慣れているバス時刻をもとに生活リズムが成り立っている。」といった方が多いはず。便利、不便に関わらず、まずもって大きく変化すること自体が負担だと考えます。市民の皆さんに負担をしていただくためには、相応のインセンティブ(意欲向上や目標達成のための刺激策)が必要だと考え、この提言を行いました。今後は本市財政の負担のあり方を随時見直し、制度のあり方を検討し続けることが重要だと考えます。

子育て支援充実のための組織のあり方について

(平成28年9月定例会本会議一般質問)

質問 子ども、子育て支援の重要性はとて高まっている。少子化対策、子育て支援の充実を図るため、組織のあり方を検討してはどうか。

答弁 本市を除く全ての政令市で単独の局・部を設置している。子育て支援のため本市に合った組織のあり方を検討していく。

平成29年4月、「こども未来部」創設。

子育て支援や少子化対策は市の仕事としてとても大切です。きめ細かく、迅速に行うためには、独立した組織とリーダーが必要です。今後も新設されたこども未来部の仕事ぶりに注目です。



インクルーシブスポーツの推進を

(平成29年2月定例会本会議一般質問)

質問 障がいのある方がスポーツを楽しむ際、場所や指導者の確保が難しく、運営ノウハウなど側面支援を受けるのも難しい現状があるが、今後どのように取り組んでいくのか。

答弁 関係団体と連携し、指導者・支援者や選手の育成、教室開催を進めており、障がいのある人もない人も共に競い楽しめるよう、講演会や体験会などを開催していく。

障がいのある人もない人も共に競い楽しめるスポーツを推進するためには、誰もが集まりやすい場所の確保や障がいのある人をよく理解している指導者の確保など、様々な課題があります。本市が障がいのある人もない人も共にいきるまちに発展できるように、今後も課題解決に向け、積極的に提言してまいります。

新潟シティマラソンへの車いすランナーの参加について

(平成30年12月定例会本会議一般質問)

質問 「車いすで新潟シティマラソンに参加したい」との声が寄せられている。他都市の多くのマラソン大会では車いすランナーの参加が認められている状況も踏まえ参加を認めるべきだと考えるがどうか。

答弁 ランナーの安全確保や交通規制時間など、さまざまな課題があるが実現に向け今後検討していく。

新潟シティマラソンは、本市における最も大きく、有意義なスポーツイベントとして定着しています。「新潟シティマラソンがあるからランニングを始めた。」という方も多いのではないのでしょうか。他都市の多くで認められている車いすランナーの参加により、障がいがあっても豊かな気持ちでスポーツに取り組めるマラソン大会として、さらにグレードアップすることが期待されます。最初には短距離、少人数からでも構いません。実現に向けて積極的に提言してまいります。

学校統合により廃校になった施設の有効活用について

(平成28年9月定例会本会議一般質問)

提言 学校統合など急激な変化には市民の皆さんの負担感がつきもの。廃校となった施設周辺の住民の皆さんのために、施設の取り壊し前には地域住民の皆さんのニーズに応じて避難所といった防災訓練を行う防災機能や学校開放、児童生徒の部活動程度のコミュニティ活性化機能は維持すべきだと考えるがどうか。

平成29年10月1日に、豊照体育館(旧豊照小学校体育館)がオープン

学校統合により、ただ単に複数の学校がひとつになるだけでなく、それまで「学校」という地域の拠点を単位とした様々な組織や活動の環境も大きく変化します。この提言で述べた避難所や学校開放などもその一例です。学校統合による市民の皆さんの負担を少しでも軽くするため、学校施設を取り壊す前には、できるだけ施設を有効活用することが、財政状況が厳しい現在においては特に重要だと考えます。

鶏の大量飼育による迷惑の解消について

(平成30年9月定例会本会議一般質問)

質問 住宅地での鶏の大量飼育による悪臭などで近隣住民に迷惑が掛かっている事例があるが、現在の条例などで想定していない事例で規制できない。現状に合うように規制の範囲を変更してはどうか。

答弁 良好な生活環境の維持という面から一刻も早く解決できるよう、至急各地の実例などを調査研究し、具体的な方向を出す努力をしたい。

現在でも中央区内の複数の住宅地で鶏を30~40羽飼育する事案が継続中。

市民の行動の規制を強めることは必ずしも望ましいことではないと考えます。しかしながら、多くの地域住民に迷惑を掛ける行為については、時代の流れに合わせて新たな規制が必要だと考え、発言に至りました。



今、見過ごしてはならない人口減少。
未来の子どもたちへ、
胸を張ってバトンを渡しましょう!

日本はこれまで経験したことのない急激な人口減少社会に突入しています。当面は、超高齢・人口減少社会を前提としたまちづくりを進めながらも、長期的には、子どもが増え、豊かなまち新潟で暮らす人が維持・増加する社会を未来の子どもたちに継承しなければなりません。まずは足元から!新潟人が新潟を誇り、好きになる本物の「地方創生」を実現しましょう!

新潟市議会議員(中央区選出)

伊藤けんたろう

●市民厚生常任委員 ●少子化調査特別委員会副委員長 ●市民厚生常任委員会副委員長
(29年5月まで)

<現住所>新潟市中央区姥ヶ山5丁目

<伊藤けんたろう事務所> 〒950-0925 新潟市中央区弁天橋通3丁目6番9号
TEL.025-282-7500 FAX.025-282-7503

■新潟市政に対するご意見がございましたら、お気軽にお寄せ下さい。 info@itokentaro.com